

プロテインPACTと 北米食肉協会 (NAMI) の サステナビリティ・フレームワーク

北米食肉協会(North American Meat Institute=NAMI)は、「プロテインPACT」(*)を通じて、サプライチェーン全体のパートナーと一丸となって、将来の人々・家畜・気候に対して、動物性たんぱく質がより貢献できるように、積極的な取り組みを行っています。

「プロテインPACT」の掲げる幅広いビジョンの達成に向けて、私たちはパートナーの努力を表す透明性の高い基準や指標を定め、継続的な改善へ向けた目標を設定しました。持続可能で、健康的な食事における動物性たんぱく質の独自の特性について、総合的なコミュニケーションを開始しています。

「プロテインPACT」を成功へ導くために、私たちはパートナーとその会員に、技術的な専門知識、適正標準、教育プログラム、サプライヤーリソースおよびその他のサポートを提供する活動を行っています。

※PACT(バクト)は、the People, Animals and Climate of tomorrowの頭文字をとった略語です。

プロテインPACTの目標



これらの目標を達成するためには、家畜の生産農場から加工業者、安全な食卓を作る家庭に至るまで、全ての人の行動が必要です。私たちは自分の役割を果たすために全力を尽くすことを約束します。

北米食肉協会(NAMI)の サステナビリティ・フレームワーク(持続可能性の枠組み)

達成目標

NAMIは持続可能性への取り組みの進捗状況を確認するために、次のことを約束します

2025年までに:

- 家畜を取り扱うNAMIメンバーの100%が、家畜の輸送および取り扱いについて、第三者機関の行う監査に合格すること。ならびに、全てのサプライヤーに対し、義務的な従業員訓練の実施と、家畜の種ごとのアニマルケア基準に従うことを求める。*
- 米国農務省(USDA)ならびに「フィーディング・アメリカ」(フードバングの全米ネットワーク)と共同で、食肉の需給格差を測定し、格差を是正するための支援を行う。困っている家庭のために、米国の栄養ガイドラインを満たすために必要な高品質な動物性たんぱく質を確保する。

2030年までに:

- NAMIメンバーの100%が、パリ気候協定の目標に沿って温室効果ガス排出量を削減するために、承認された科学的根拠に基づく目標を設定、認可を受ける。
- 労働災害を、1999年から2019年までに達成した75%減少に加えて、2019年比でさらに50%減少させる。
- NAMIメンバーの100%が、全ての評価基準に則った報告を行う。

*家畜の種ごとに設定されているアニマルケアの
基準(生産者プログラム)には以下のものがあります。:

- Beef Quality Assurance
<https://www.bqa.org/>
- National Chicken Council Animal Welfare Guidelines
<https://www.nationalchickencouncil.org/policy/animal-welfare/>
- National Turkey Federation Standard of Conduct
<https://www.eatturkey.org/animal-welfare/standards/>
- Pork Quality Assurance Plus and Pork Quality Assurance Plus Site Assessment
<https://porkcheckoff.org/certification-tools/trainingcertification/pqa-plus/>
- Pork Transport Quality Assurance
<https://porkcheckoff.org/certification-tools/training-certification/tqa/>



評価測定

NAMIは持続可能性に関する専門家によるタスクフォースで、メンバーが設定する高い目標の効果を測定し、「プロテインPACT」の目的を達成するために、5つの領域にわたる評価基準を開発しました。これは、食肉の処理加工、包装におけるサステナビリティを測定、改善するもので、専門家やサプライチェーン全体のパートナーによって幅広い精査が行われました。これらの評価基準は、NAMIの理事会によって承認され、80万人超を雇用し、数千種類もの食肉製品を生産する370社(団体)を超えるすべてのメンバーに適用されます。

あらゆる規模の企業がもれなく参加できるように、NAMIは重点領域に測定可能な指標を定めました。これによって各企業は、持続可能性に向けた取り組みの全段階で、規則・規律への準拠の明示から、意欲的な公的コミットメントの設定、追跡と履行、そして達成までの継続的な改善を明示することができます。

指標一覧 全ての評価測定・指標は5-8ページ参照。

動物福祉	環境	食品安全	健康・ウェルネス	労働者と人権
家畜の取り扱い	温室効果ガスとエネルギー	食品安全プログラム	多様で健康的な食事	労働者
輸送	水の使用	外国産原料の管理	先進的栄養学	従業員の定着
	固形廃棄物	第三者機関の監査	食料安全保障への貢献	従業員の苦情対応
	食品廃棄物			ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂性)
	土地の使用			監査と認定
	サプライヤーへの関与			労働者の安全
				危害の予知
				労働者の安全教育・訓練
				安全性コミュニケーション
				従業員エンゲージメント

進行の過程



進捗状況の確認と報告の方法

NAMIは、プロテインPACTを通じて、食肉業界全体の透明性と説明責任をベースラインとして定めています。NAMIのサステナビリティ・フレームワークは、業界初のデータフレームワークとして構築されます。これは、食肉企業がサステナビリティのあらゆる面での進捗状況を測定し、評価・報告・検証する方法を調和させた革新的な手法です。

米国で販売される食肉の大多数を取り扱うNAMIの理事会メンバー企業は、2022年以降、全ての指標に関するデータを報告する責任を負います。NAMIは、あらゆる規模のメンバーが可能な限り多くの指標について、できるだけ早く報告を行えるように、教育や訓練を推進しています。NAMIのスタッフは、重点領域において技術的専門家を派遣します。また、NAMIのサプライヤー委員会は、メンバーの成功を支援するための技術の開発や革新、その他リソースの選定に取り組んでいます。

NAMIは、メンバー企業が報告する全てのデータを安全に管理・分析し、史上初のセクター全体のデータセットを構築します。ベースラインを正確に評価し、将来に向けた高い目標を策定し、進捗状況を測定し、目標達成までを信頼できる形で報告できるようにします。データは内部の中間目標や外部の目標と照らし合わせて把握・追跡し、進捗レポートを定期的に公表します。

私たちの取り組みは、農家や生産者団体の取り組みを補完、強化し、また、食料品店、レストラン、各家庭での行動を繋ぐ架け橋となるものです。すべての人々、家畜、そして将来の気候のための共通目標を忠実に達成するためには、私たち全員の努力が必要です。



全ての評価測定および指標

	目標	対象	評価測定および指標
動物福祉	最も人道的なケアの提供し、健康な家畜の育てる	家畜を取り扱うNAMIメンバーの100%が、家畜の輸送および取り扱いについて、第三者機関の行う監査に合格すること。ならびに、全てのサプライヤーに対し、義務的な従業員訓練の実施と、家畜の種ごとのアニマルケア基準への準拠を求める。	<p>ベースライン:</p> <p>家畜の輸送および人道的取扱いに関する適用規則への準拠</p> <p>コミットメント、進捗確認と遂行、達成:</p> <p>輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針の文書化 NAMIの動物取扱いガイドラインに則した第三者機関による監査と認証 国ならびに畜種ごとの生産団体等のプログラムへの参加 <p>家畜の飼育・と畜</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な動物福祉プログラム NAMIの家畜の取扱いガイドラインに則した監査 NAMIの家畜の取扱いガイドラインによるスタッフ認証 サプライヤーに対する動物福祉および取扱いポリシーの文書化の義務付け 畜種ごとの動物福祉プログラムへの参加
労働者と人権	多様な労働支援を提供し、安全な労働環境の確保する	労働災害を1999年から2019年までに達成した75%減少に加えて、さらに50%減少する(2019年比)。	<p>ベースライン:</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全上の従業員エンゲージメントの向上とコミュニケーションプログラム 危害予知プログラム、安全教育、訓練、注意喚起、監督(従業員に適した言語での実施含む) 非差別的、非報復的、非強制的な労働ポリシー ミッションステートメントに基づく多様性、公平、包摂性 従業員、サプライヤー向けの行動規範 労働組合の自由 <p>コミットメント、進捗確認と遂行、達成:</p> <p>危害予知</p> <ul style="list-style-type: none"> 分野別検査 毎月の見直し ニアミス(ヒヤリ・ハット)事象の24時間以内の報告と見直し・調査 口頭での安全周知 毎年の事故分析と継続的改善目標

	目標	対象	評価測定および指標
労働者と人権	多様な労働支援を提供し、安全な労働環境の確保する	労働災害を1999年から2019年までに達成した75%減少に加えて、さらに50%減少する(2019年比)。	<p>安全上の従業員エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員による安全上の事故報告 従業員に関する監査・検査 従業員への安全認知調査の実施 安全性に関する研修訓練と周知 監督者への危害予知訓練の実施 業務開始前の従業員訓練(役割別に報告) 従業員に対する毎月の事故報告 <p>従業員の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員の人口統計学的属性データ報告(全体・役割別) <p>従業員の苦情</p> <ul style="list-style-type: none"> 申し立てと管理/対処方法 <p>ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口統計学的属性による雇用率 正規雇用と時給労働者の多様性 研修プログラムと頻度 <p>社会的責任</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス監査(SEDEX、SWA等)、実績報告 人権ポリシーと倫理的基準
食品安全	例外のない安全な製品の生産	協議中	<p>ベースライン:</p> <p>従業員研修(従業員に適した言語で実施)の実施と(最低)年一回の見直し、病原体/有機物データの追跡および分析、公衆衛生、アレルギー管理を含む充実した食品安全プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国産原料に対する規制・防止計画 (最低年一回の)第三者機関による監査・認証 <p>コミットメント、進捗確認と遂行、達成:</p> <p>食品安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的知見と経験に基づく食品安全プログラムの有効化 食品安全プログラムの企業文化への浸透 複数分野の専門家チームによるプログラムの策定、評価と発生事案の研究 食品安全研修の目標とする能力強化 病原体/有機体データ分析と環境的サンプリングの目標拡大 業界が取り組む適正標準、新技術、科学的進歩への参加 <p>外国産原料に対する規制・防止計画</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメント 事故対応プログラム 実際に起きた事故の根本原因分析

	目標	対象	評価測定および指標
食品安全			<p>第三者機関の監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査実績の継続的改善へ向けた、より高い目標の設定
健康・ウェルネス	<p>バランスの良い食事のために、高品質で多様なたんぱく質を提供する</p>	<p>米国農務省(USDA)ならびに「フィーディング・アメリカ」と協力し、食肉の需給格差を測定し、格差を是正するための支援を行う。困っている家庭のために、米国の栄養ガイドラインを満たすために必要な高品質な動物性たんぱく質を確保する。</p>	<p>ベースライン:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有益な栄養素、制限すべき栄養素、ライフスタイル/ウェルネスの好みに関する製品データの収集 <p>コミットメント、進捗確認と遂行、達成:</p> <p>飢餓をなくす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金提供、貢献、フードバンクとのパートナーシップ、慈善事業その他のプログラム <p>多様で健康的な食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの栄養的ニーズ、食品の準備、食品安全、食事指導に関する消費者への自主的な製品情報の提供 ・企業/業界/第三者機関の栄養イニシアチブへの自主的参加 <p>栄養学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学的研究、栄養教育、健康的なライフスタイルプログラムへの資金提供と貢献 ・内部のコミットメントとウェルネスプログラム ・外部のコミットメント、プログラム、パートナーシップ
環境	<p>健全な土地、空気、水に対する貢献を最適化する</p>	<p>NAMIメンバーの100%が、パリ気候協定の目標に沿って温室効果ガス排出量を削減するために、承認された科学的根拠に基づく目標を設定、認可を受ける。</p>	<p>ベースライン:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用される全ての認可の取得(大気質、NPDES、水質など) ・連邦および州、地方で適用される環境規制の順守と年次コンプライアンスレビュー <p>コミットメント、進捗確認と遂行、達成:</p> <p>エネルギーと温室効果ガス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの使用と使用効率、基準の認可 ・排出量の測定と報告 ・排出量削減目標と科学に基づく目標の策定 <p>固形廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物削減/埋立地変更計画、プログラムと監査 ・埋立地飽和度 ・リサイクル資源の使用 <p>プログラムと監査がパッケージになった排出物削減計画</p>

	目標	対象	評価測定および指標
環境			<p>食品廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品廃棄削減計画、プログラムと監査 <p>水使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水資源管理計画と認定基準 ・流域ベースのリスク評価 ・取水量の測定、報告 土地使用強度 <p>土地の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の転換および森林破壊に関するポリシー(サプライヤーを含む) ・建設、改修および拡張における天然資源への影響緩和策 <p>サプライヤーコミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物のために気候に配慮したサプライチェーンのプロジェクト、生産および家畜の管理 ・サプライヤーのための環境影響評価

※このレポートの日本語は仮訳です。原本はNAMIのWebを参照下さい。

